

高萩市議会議員

おおひらのぞむ

大平 望

SNSも是非ご覧ください！



Profile

1994年生まれ、高萩小、高萩中、日立一高、千葉大文学部卒。
小中は野球、高校大学はラグビー・アメフトに打ち込む。
2017年 みずほ証券に入社、2020年から下村博文事務所。
2023年より高萩市議選当選、現職となる。

30歳

令和7年3月議会の概要

【議会の審議の要点】

- ☑ 令和6年度一般会計補正予算
- ☑ 高萩市集会設置及び管理に関する条例の一部を改正する等の条例の制定について
- ☑ 高萩市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条約等の一部を改正する条約の制定について
- ☑ 高萩市建築基準条例の一部改正について
- ☑ 高萩市非常勤消防団員に係る退職報奨金の支給に関する条例の一部改正について
- ☑ 高萩市印鑑条例及び高萩市手数料条約の一部改正する条約の制定について

【大平の質疑項目】

- ☑ アントレプレナーシップの醸成について
詳しくは質問解説コーナーにて

【主な提案項目】

- ☑ 市職員・教職員のアントレプレナーシップ研修
→実施します
- ☑ 教育にアントレプレナーシップを導入
→実施します
- ☑ 高校の探究授業との連携
→現状も学生の提案に対しフィードバックを行いながら連携していくところ。もっと活動を広げていきます。
- ☑ 民間連携での教育プログラムの実施
→研究します

・ 質問解説 ・ アントレプレナーシップについて

アントレプレナーシップとは？

アントレプレナーシップとは、様々な困難や変化に対し、与えられた環境のみならず自ら枠を超えて行動を起こし、新たな価値を生み出していく精神のこと。

アントレプレナーシップ教育とは、自ら社会課題を見つけ、課題解決に向かってチャレンジしたり、他者との協働により解決策を探究したりすることができる知識・能力・態度を身に付ける教育です。

なぜアントレプレナーシップ？

今後働き方の多様性は加速し、大学に出たからいい会社に、という時代も終わってしまう。優等生の仕事こそAIにとって代われ、未来を生きる子供たちに求められるものは試行錯誤と実践経験となり、能動的に動くことがより強く必要とされる時代になると考える。

そのため、学生でもビジネスに触れながら商品開発や街づくりのアイデアを出したり法律や会計の知識を学んだりできる場をつくり、未来を担う子供たちが人生の選択

肢・可能性を広げられるような街にしようという提案をさせていただきました。



大平 望 議員

サッカー人工芝整備事業

6国沿いにあるあの高浜グラウンドが人工芝に！？
お金が無いと言っている高萩市でどうしてできるのか。地方債（借金）175,000千円、補助金など84,000千円、一般財源（市の財布）3,550千円の総額262,850千円の事業。

まずスポーツ振興くじ助成金を含めた補助金が8400万円も！

そして今回発行する地方債（地方自治体が利用できる借金）は地方交付税措置率50%、つまりは借金の中の半分は国が肩代わりしてくれます（払った後バックをうける）。残り1億弱が市の負担となって返していくことになりますが、財政上問題はないと思っています。

ちなみにこの高浜グラウンドはほぼ毎日利用者のいる使用率の高いグラウンドですが、年間320日間をサッカーチーム（クラブユースチームやスポーツ少年団、そして第一学院サッカー部等）が利用されているのでメインの作りはサッカー用になります。

現在利用している野球チームやソフトボールチームには高萩中グラウンドを使用できるように調整していくほか、サンスポーツランドを2面とれるように改修していくことで概ね納得していただいた形となっています。

交流戦や公式試合の会場となることや新規イベントの催し等で交流人口の拡大が期待されます。変化の乏しい高萩市にとって一つ明るい話題ができました。



コンビニで住民票取得が可能に

印鑑証明書と住民票がコンビニで取得できるようになりました。導入にかかるコストが高いためと長年敬遠されておりましたが、導入にかかる費用が年々低減されてきたことと必要性を鑑み本年度より導入する。

議会では、合わせて「書かない窓口」の推進や「住民票での本籍の取得までできるようにすべき」という意見もあった。

中学生の給食費無償化

従来の給食費第二子半額助成、第三子以降無料に加え、中学生の無償化を予算化。子育て世帯の強い要望もあり一部実現したかたち。近隣都市である日立市での財源はふるさと納税だったり財源確保に難儀するものである。給食費の完全無償化は現市長も国が対応すべき案件にとらえ、これまでは対応してこなかった。私は「市の発展に繋がらないランニングコストへの公的資金の執行は本来控えるべき。」と苦言を呈するに留めました。

地域Topics

(株)ウィザスと教育特区について

高萩市では2004年に教育特区（構造改革特区）として内閣府より認定を受け、株式会社による学校設置を可能とする取組を行いました。この特区を活用し2005年4月にウィザス高等学校（現・第一学院高等学校高萩本校）が開校。

高萩市の誘致に応えていただき、学校法人とは違い税制上の優遇もないなか、教育分野での地域活性化を図り、生涯学習の機会を創出いただいています。

また、第一学院を運営するウィザス様より「地域活性化や住民サービスの向上、教育の充実」のための寄付を計1億円（10年間で1000万円ずつ）いただく協定を結んでいただいております（2024年4/4 茨城新聞報道）。

にこにこ地域食堂

大人から子供まで全員無料で、誰も取り残さず、地域の交流を生み出す場として、20代の吉田夏奈さんが始めた地域食堂。失われていく地域の交流を取り戻したい思いがキッカケになった。

参加している人には5人兄弟や6人兄弟もいて、「一食誰かの手を借りて子供たちを遊ばせら

れてありがたい」と好評です。（子供達の様子は本事業のインスタをチェック）

私も時々手伝いながら見守ってます。



下写真は苺・レタス・からあげを盛り付けてます（笑）

皆様のご参加をお待ちしています。また活動に興味・賛同していただける方のお手伝い、協賛・御協力も募集中です。



<INFORMATION>

- にこにこ地域食堂 代表 吉田夏奈
- 毎月第2日曜日2部制
- ①11:00-12:00②12:40-14:00
- 公式LINEまたは電話で要予約
- TEL: 070-3667-4307